

九州産業大学図書館所蔵孝經關係和漢書目錄

石川 泰成

凡例

- 一、この目録は、平成十五年六月現在、九州産業大学図書館所蔵になる『孝經』に関する漢籍・和書の目録として編纂したものである。
- 一、目録が拠り所とした先行文献は、主に、長澤規矩也氏の『和刻本漢籍分類目録』及び同『補正』である。相補的に京都大学の『人文科学研究所漢籍目録』、東京大学の『東洋文化研究所漢籍分類目録』を援用した。
- 一、漢籍・和刻本漢籍の配列等も長澤氏のものに準拠している。準漢籍、邦人撰述和書については、古文孝經、御註孝經、元明清人注の再注、邦人著述に分けて各項目について成書時代の古いものから採録した。但、この配列は今後更に検討を要す。
- 一、収載の範囲は、線装本にかぎった。時代の下限は本目録の収載対象である『孝經』が明治以降、昭和二十年頃まで盛んに出版された経緯をふまえ昭和前期までとした。
- 一、書名は本文第一丁一行目内題から採録するべきものであるが、今次目録が、すべて『孝經』『古文孝經』となり、目録の用を成さぬことから、原編著者が意図した書名になるよう、序跋、書扉、題箋から通行の書名を採った。その際書名採録の情報をなるべく略書誌に記すようにした。ただし、角書等も書名に採録した場合もあるが、括弧・割注で示すことはしなかった。
- 一、所蔵のものは、同じ版本のものも煩を厭わず重出し、刊・印・修や再版の情報は可能な限り採集に努め、略書誌に記した。

- 一、訓点、送仮名、傍訓等の加点の有無を略書誌に記載した。漢文訓読法の変遷を知る点本資料となるよう意図したためである。一部だけ訓点、送仮名、傍訓等が施されている場合、(△)の記号を付してある。
- 一、略書誌中、原―○とあるのは、架蔵の帙に付されている番号であり、閲覧請求の際の便に供するものである。
- 一、旧蔵者印については略書誌に逐一記さなかったが、この目録に採録したものはすべて佐々木振美(元八幡市立図書館館長)の旧蔵書印があった。佐々木氏の蔵書が、東京の書肆を経て、のち再び関門海峡を越えて九州の地に帰したものである。惜しむらくは保存状態が蠹魚の損ない激しいものが多かったが、今次目録編纂に際し、本学研究生宮良有津己が裏打ち等補修を行った。

○

古文孝經一卷 一册

漢孔安國傳 據永正十四年抄本寫本

〔略書誌〕奥書に「永正十四年丁丑仲秋旬之此書口 文主西小田原寺藤

□とあり。旧蔵者題簽に「錦小路家本永正本孝經」とあり。原―1 返・

送・縦

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 延享元年(一七四四)刊 須原屋小林新兵

衛刊

〔略書誌〕原―2 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 天明三年(一七八三)再板 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば、延享元年五月刊本の再板。原―3 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 慶應二年(一八六六)刊 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕原―4 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 慶應二年(一八六六)刊 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前、題簽に「大字古文孝經正文再版」あり。原―5 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 慶應二年(一八六六)再版 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―6 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 慶應二年刊本明治印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕題簽に「大字孝經正文再版」とあり。表紙見返し、刊記は慶應

二年刊本を流用し、「東都書肆」を「東京書肆」に改めたもの。原―7

返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 無刊記本

〔略書誌〕同前 原―8 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 嵩山房刊

〔略書誌〕刊行年未詳本 原―9 返・送

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)訓點 明治十三年(一八八〇)刊 寶積堂渡辺貞吉刊

〔略書誌〕刊記に「旧鹿兒島藩出版」とあり、題簽に「翻刻古文孝經正文」

とあり。原―10 返・送

○

古文孝經一卷 一册

題漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 安永七年(一七七八)刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 刊記によれば、享保十七年紫芝園藏板の再板。原―11 句

古文孝經一卷 一册

題漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 寛政六年(一七九四)刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 享保十七年紫芝園藏板の再板。原―12 句

古文孝經一卷 一册

題漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 寛政六年(一七九四)刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 同前 原―13 句

古文孝經一卷 一册

太宰純(春臺)音 無刊記
[略書誌] 紫芝園藏版の無刊記本。原―14 正文(返・送なし)

古文孝經一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 片山兼山標註竝訓點 文政十二年(一八二九)年刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 題簽に「山子點」とあり。原―15 返・送

古文孝經一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 片山兼山標註竝訓點 文政十二年(一八二九)刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 同前 原―16 返・送

古文孝經一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 片山兼山標註 竝訓點 文化十二年(一八二九)刊 本 明治印 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 刊記「東都書肆」を「東京書肆」に改む。原―17 返・送

古文孝經標柱一卷 一册

太宰純(春臺)音 片山兼山標註 竝訓點 文化十二年(一八二九)刊 嵩山房小林新兵衛刊
[略書誌] 享保17年刊本に原つき標柱を加えたもの。原―18 返・送・縦

龍頭古文孝經定本一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純(春臺)音 伊藤馨(子徳)増注竝訓點 弘化三年刊 本明治印 出雲寺文治郎・須原屋新兵衛等刊
[略書誌] 龍頭本、表紙見返しに「嵩山房梓」とあり。發行書林に「江戸」を「東京」に象嵌する。明治に入ってから印行か。書名を假に表紙見返しに據る。原―20 句・返・送・縦

古文孝經正文 一册

衣關敬鱗(甫軒)校 天明四年(一七八四)刊 一關學館藏版
[略書誌] 敬鱗(甫軒)跋あり。原―21 返

孝經孔氏傳一卷 一冊

漢孔安國傳 田大齡・島翺冲夫校

〔略書誌〕無刊記、享保十六年の太宰純（春臺）序あり、享保十七年（一七三二）紫芝園藏板刊本を用いる。校者は會津藩の人。書名は本文第一行内題による。原―22 返・送・縦

古文孝經定本一卷 一冊

朝川鼎（善庵）考定 關達・齋藤尚校 文化六年（一八〇九）序刊 學古塾藏版

〔略書誌〕卷頭に文化六年三月朝川鼎（善庵）の「孝經六書叙」を付し、文化六年の關達序あり。版心に「學古塾藏」とあり、卷末に「刊者華霞年」とあり。原―23 返・送

古文孝經定本一卷 一冊

朝川鼎（善庵）考定 關達・齋藤尚校 文化六年（一八〇九）序刊 學古塾藏版

〔略書誌〕同前 原―24 返・送

古文孝經定本一卷 一冊

朝川鼎（善庵）考定 關達・齋藤尚校 文化六年（一八〇九）序刊

古文孝經一卷 一冊

題漢孔安國傳 享保六年（一七二二）跋刊 博文堂丸屋市兵衛刊

〔略書誌〕刊行年は享保六年清原尚賢跋の年次による。原―26 返

古文孝經一卷 一冊

題漢孔安國傳 清原宣条校 天明元年（一七八二）刊 田中市兵衛刊
清原家藏版

〔略書誌〕刊記に「清原家藏」また題簽に「清家正文」と記し、清家本。赤松鴻の跋を付す。原―27 返・縦（△）

古文孝經一卷 一冊

享和三年（一八〇三）刊
〔略書誌〕刊行者未詳、袖珍本、原―100 白文

古文孝經一卷 一冊

江戸印
〔略書誌〕無刊記、孔安國序を載す。原―101 返・送・縦（△）

古文孝經一卷 一冊

江戸印 因幡國尚徳館藏版
〔略書誌〕無刊記、藏版は題簽の記述に拠る。原―102 返・送・縦

古文孝經正文一卷 一冊

江戸印
〔略書誌〕無刊記、原―102と同版。返・送・縦

孝經正文一卷 一冊

江戸印
〔略書誌〕無刊記、表紙見返しに「孝經正文」とあり。原―103 返

○

古文孝經一卷 一册

明治五年（一八七二）刊 村上勘兵衛・遠藤平左衛門等刊
〔略書誌〕表紙見返しに「片山先生改點 音註正文古文孝經 八書堂發兌」とあり。原―79 返・送

古文孝經一卷 一册

津坂綽堂・大橋貞裕校 明治十三年（一八八〇）刊 松村孫吉刊
〔略書誌〕刊行年 今暫らく翻刻御届の年次に據る。表紙見返しに、「綽堂先生校本 改正音訓古文孝經 東京 小泉堂梓」とあり。原―80 句・返・送

古文孝經一卷 一册

津坂綽堂校 明治十四年（一八八一）刊 長島爲一郎等刊
〔略書誌〕表紙見返しに「綽堂先生校本 改正音訓古文孝經 東京書林長島氏發行」とあり書名採録の根拠とする。原―81 句・返・送

古文孝經一卷 一册

津坂綽堂校 明治十六年（一八八三）印
〔略書誌〕刊記によれば、「原版主 栗田東平」で、別所平七（島屋）、吉田久兵衛（浅倉屋）發兌、刊行年は今暫らく御届の年次に據る。表紙見返しに「綽堂先生校本、改正音訓孝經、文淵堂發兌」とあり。原―82 返・送

改正音訓古文孝經一卷 一册

津坂綽堂校 藤井利八（松山堂）及松雲堂書店發行。
〔略書誌〕刊行年未詳なれど昭和の印行か。綽堂校本「改正音訓 古文孝經」の版を用いたもの。孔安國序を附し、本文は句・返・送

古文孝經一卷 一册

栗田東平板
〔略書誌〕刊行年未詳 題簽に「改正音訓古文孝經」とあり。版心に「孝經校本」とあり、綽堂校本原―81と同版

古文孝經一卷 一册

川上由藏（泊堂）訓點 明治十五年（一八八二）刊 小野藤吉（春篋堂）刊
〔略書誌〕表紙見返しに「春篋堂 大字 古文孝經梓」とあり。原―84 返・送・縦

古文孝經一卷 一册

五十川左武郎訓點 明治十五年（一八八二）刊 比村庄助刊
〔略書誌〕原題簽に「大字古文孝正文」とあり。版心に「此村氏藏板」とあり。原―85 返・送

古文孝經一卷 一册

平田某訓點 明治三十年（一八九七）刊重印 森江佐七發行 擁萬閣藏板
〔略書誌〕刊記に明治十五年出版、明治三十年求版とあり。題簽に「訓點 古文孝經 全」とあり、表紙見返しに、擁「平田先生訓點古文孝經 擁

萬閑蔵梓」とあり。原―90 返・送・縦

古文孝經一卷 一册

深井鑑一郎校 明治四十四年(一九一七)再版 大葉久吉・吉岡平助發行 寶文館發兌

〔略書誌〕明治四十四年七月初版、十一月訂正再版、表紙見返し欄外に「文部省檢定濟」とあり。鉛印本。原―92 返・送

校正古文孝經一卷 一册

小石碌郎訓點 明治印 聖華房山田茂助蔵板
〔略書誌〕訓點者名は表紙見返しに依る。原―93 返・送

校正古文孝經一卷 一册

小石碌郎訓點 明治印 聖華房山田茂助蔵板
〔略書誌〕同前 原―94 返・送

古文孝經一卷 一册

漢孔安國傳 昭和五年(一九三〇)刊 深井鑑一郎校訂兼發行
〔略書誌〕鉛印本。原―96 返・送

古文孝經一卷 一册

三松堂 明治印 松邑孫吉蔵版
〔略書誌〕題簽に「大字新刻 古文孝經」とあり。左傍訓。原―99 返・送

古文孝經一卷 一册

〔略書誌〕無刊記。句・返。

孝經司馬溫公指解一卷 一册

宋司馬光(溫公)指解 神堃世猷校讀 文化十三年(一八一六)序刊本
明治印 片野東四郎等刊

〔略書誌〕原―28 返・送

孝經司馬溫公指解一卷 一册

宋司馬光(溫公)指解 神堃世猷校讀 文化十三年(一八一六)序刊本
明治印 澤宗治郎・永棗堂片野東四郎等刊

〔略書誌〕原―29 送・返

孝經司馬溫公指解一卷 一册

宋司馬光(溫公)指解 石崎謙校讀 写本
〔略書誌〕識語等なし。石崎謙は越中の人。原―30 返・送・縦

古文孝經指解補註一卷 一册

宋司馬光(溫公)指解 南宮岳(弥六郎)補註 明和五年(一七六八)刊 田中市兵衛・大森傳右衛門等刊

〔略書誌〕明和四年十一月南宮岳の序を載せる。書名は序によりて採録。版心に「積翠樓」とあり。原―31 返・送・縦

孝經一卷 一册

山崎嘉(闇齋)訓點 西派校 天明七年(一七八七)刊 崇高堂河内屋

八兵衛刊

〔略書誌〕 版心に「山崎嘉點」とあり、原―32 返・送・縦

孝經一卷 一册

山崎嘉（闇齋）訓點 安政五年（一八五八）印 河内屋萬助刊

〔略書誌〕 寛政七年の久保権八郎再刻本を安政五年に河内屋萬助が求板刊行したもの。版心に「山崎嘉點」とあり、原―33 返・送・縦

孝經一卷 一册

山崎嘉（闇齋）訓點 安政五年再刻本明治印 河内屋萬助刊

〔略書誌〕 刊記に「寛政七年 久保権八郎再刻」とあり、題簽に「山崎嘉點再刻」とあり。裏表紙見返しに明治期の広告を刷り、原―33の明治期の印行。原―34 返・送・縦

孝經刊誤一卷 一册

宋朱熹（文公）刊誤 明曆二年（一六五六）刊 武村市兵衛刊

〔略書誌〕 原―35 返・送・縦

孝經刊誤一卷 一册

宋朱熹（文公）刊誤 寛政二年（一七九〇）刊 川上軒刊再刻

〔略書誌〕 覆明曆刊本、原―36 返・送

孝經刊誤一卷 一册

宋朱熹（文公）刊誤 大槻清準（平泉）訓點 松川敬胤校 文化八年（一八一二）刊 養賢堂蔵版

〔略書誌〕 原―37 返・送

孝經（朱子刊誤）一卷 一册

宋朱熹刊誤 明倫館蔵版

〔略書誌〕 無刊記、或は明治の印行か。版心に、「明倫館蔵」とあり、題簽に「長州明倫館刊本」とあり。原―38 返・送・縦

孝經王羲之書 一帖

晉王羲之書

〔略書誌〕 無刊記、陰刻草書、折帖。原―39

孝經鄭註一卷 一册

舊題 漢鄭玄註 良芸之（伯耕）句讀 邨兼般・谷文卿校 寶曆三年（一七五三）刊 堺屋嘉七刊本

〔略書誌〕 題簽に「孝經古經」とあり。寶曆三年、良芸之の序あり。原―40 句

孝經鄭註一卷 一册

舊題漢鄭玄撰 岡田挺之（新川）校 寛政五年（一七九三）序刊 永樂

屋片野東四郎刊 東壁堂蔵版

〔略書誌〕 群書治要本。原―41 返・送・縦

補訂鄭註孝經一卷 一册

漢鄭玄注 唐魏徵原本 窪木清淵補訂 文化六年(一八〇九)刊本後印
息耕堂藏版

〔略書誌〕表紙見返しに「唐魏文貞公原本」とあり。原―42 句

孝經鄭註一卷鄭氏解一卷孝經鄭註補證一卷 一册

舊題漢鄭玄撰 岡田挺之(新川)校 (鄭氏解) 清臧庸(補證) 清洪頤
煊 文化十二年(二八一五)刊

〔略書誌〕翻離知不足齋本、官版、原岡田挺之(新川)校本(群書治要
本)、題簽「官版孝經鄭註 三種 翻離知不足齋本」とあり、「孝經鄭註」
「孝經鄭註補證」「孝經鄭氏解輯」を収む。原―43 白

御注孝經一卷 一册

唐玄宗注 明治二十四年(一八九一)跋刊 三条公美刊

〔略書誌〕三条西実隆手書開元初注本、後小松天院進講本(押小路公忠
書進本)の三条西実隆手書本の模刻。訓讀は十五世紀初頭のを残
す。原―47

影宋刊本御注孝經附解説 二册

長澤規矩也解説 日本書誌學會編刊 昭和七年十一月 長澤規矩也編
輯発行 文求堂書店發賣

〔略書誌〕北宋刊本御注孝經の影印本、原本は宮内省圖書寮藏、原―97

御注孝經一卷 一册

狩谷望之(掖齋)校偽 文政九年(二八二六)跋刊

〔略書誌〕文政九年十一月の狩谷望之の跋を付し、刊行年の根拠とする。
表紙見返しに「大唐開元天寶聖文神武皇帝注孝經」とあり。卷末木記に
よれば、狩谷氏求古樓用家藏北宋本を覆印したもの。原―48 白

御注孝經一卷 一册

狩谷望之(掖齋)校偽 文政九年(二八二六)跋刊
〔略書誌〕同前 無刊記、原―49

御注孝經一卷 一册

狩谷望之(掖齋)校偽 文政九年(二八二六)跋刊 嵩山房藏版

〔略書誌〕裏表紙見返しに「嵩山房目錄」を付すところから、或いは嘉永
四年後印本(嵩山房小林新兵衛刊)か。原―50

唐御製八分孝經 三卷 三册

唐玄宗註 寬延元年(一七四八)印本後印 中野宗左衛門・唐本屋吉左
衛門刊

〔略書誌〕題簽「八分孝經」につくる。明郭元跋、白綿紙本、寬永三年本
の寬延元年印本の刊記を流用して、新たに唐本屋吉左衛門を加えて後印
したもの。原―56 白

唐御製八分孝經 三卷 三册

唐玄宗註 寬永三年(一六二六)本後印
〔略書誌〕無刊記本、題簽「唐帝御筆孝經」につくる。原―57 白

御註孝經一卷 一册

唐玄宗註 桑門一桂點 弘化三年（一八四六）跋刊
〔略書誌〕卷末に弘化三年（一八四六）、桑門一桂の跋語によれば、菅家の點本に依つて訓點を加えたものという。原―51 返・送・縦

御註孝經一卷 一册

唐玄宗註 藤原憲校 寛政十二年（一八〇〇）刊 河南儀兵衛・堺屋伊兵衛等刊

〔略書誌〕版心に「宛委堂」とあり。寛政十二年五月藤原憲の「御註孝經序」あり。菅家の點本。原―52 返

御註孝經一卷 一册

唐玄宗註 藤原憲校 寛政十二年（一八〇〇）刊 河南儀兵衛・堺屋伊兵衛信成等刊

〔略書誌〕同前 原―53 返

御註孝經一卷 一册

唐玄宗註 藤原憲校 寛政十二年（一八〇〇）刊 河南儀兵衛・堺屋伊兵衛信成等刊

〔略書誌〕同前 原―54 返

御註孝經一卷 一册

唐玄宗註 藤原憲校 天保五年（一八三四）印 堺屋伊兵衛信成刊
〔略書誌〕同前 題簽「孝經正文」に作り、文化五年本の外題変え後印本。原―55 返

○

孝經註疏九卷 一册

唐玄宗註 宋邢昺疏竝較 清刊

〔略書誌〕崇禎二年汲古閣毛氏刊の木記を持つ汲古閣毛晋十三經注疏本の清刊、白綿紙本。原―233

孝經註疏九卷 一册

唐玄宗註 宋邢昺疏竝較 清刊

〔略書誌〕同前 原―234

孝經註疏九卷 三册

唐玄宗註 宋邢昺疏 享和元年（一八〇一）印 米田清右衛門・風月莊左衛門等刊

〔略書誌〕原―44 句

孝經註疏九卷首一卷 一册

唐玄宗註 宋邢昺注疏 寛政二年刊本後印 須原屋茂兵衛・象牙屋治郎兵衛等刊

〔略書誌〕書根より原裝三册を一册に改装したもの。序文版心に「萬曆十四年刊」とあり。原―45 返・送・縦

孝經註疏九卷 一册

唐玄宗註 宋邢昺注疏 寛政二年刊本後印
〔略書誌〕同前 無刊記本、原―46 返・送・縦

○

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 元祿五年(一六九三)刊 北村四郎兵衛刊
〔略書誌〕半紙本、総フリガナ(片仮名)。原―58 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 寛永十八年(一六四一)印 田原仁左衛門刊
〔略書誌〕原―59 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 寛永十八年(一六四一)後印 田原仁左衛門刊
〔略書誌〕同前 あるいは寛永十八年後印本より更に後印か。原―60 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 寛文十年(一六七〇)刊本後印
〔略書誌〕寛文一〇年田原屋平兵衛刊本後印か。羅山點。原―61 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 貞享五年(一六八八)刊本後印 井筒屋六兵衛刊

孝經大義一卷 一册

〔略書誌〕同前 原―62 返・送・縦
宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 元祿八年(一六九五)刊本後印 芳野屋刊

孝經大義一卷 一册

〔略書誌〕扉に「改點孝經大義」とあり。元祿八年貝原篤信の「孝經訓點題説」を收む。世に貝原點と稱するもの。原―63 返・送・縦
宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 明治十六年(一八八三)刊 林斧介刊
〔略書誌〕表紙見返しに「林磊落堂版」とあり。貝原点。原―64 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 明曆三年(一六五七)刊本後印 鈴木太兵衛刊

孝經大義 一册

〔略書誌〕首書本、題箋に「首書」の角書あり。原―65 返・送・縦
宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 清杜宗之標柱 群玉堂河内屋岡田茂兵衛刊

孝經大義一卷 一册

〔略書誌〕首書本、明治重印本。原―66 返・送・縦
宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 天明八年(一七八八)印 崇高堂河内屋八兵衛・河内屋鍋吉等刊
〔略書誌〕版心に「孝經新註」とあり。首書本。原―67 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 天明八年(一七八八)後印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕首書本、版心に「孝經新註」とあり、題簽に「頭書 孝經大義」とあり。河内屋八兵衛等刊本の小林新兵衛(嵩山房)重印本。原―68 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 嘉永四年(一八五二)印 河内屋徳兵衛・近江屋平助刊、

〔略書誌〕天明八年印の河内屋鍋吉本を補修印行したもの。題簽に、「龍頭新註孝經大義」とあり。原―69 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註

〔略書誌〕無刊記、版心に「孝經新註」とあるも寛永版系統(原―67・68・69)とは板を異にする。原―70 返・送・縦

孝經大義一卷 一册

宋朱文公刊誤 元董鼎註 貞享元年(一六八四)刊本後印

〔略書誌〕本文大尾に「貞享元年甲子夏五月吉辰」とあれど、刊行者不明、寛永刊本の貞享印本(原―62)の系統とは異本。原―71 返・送・縦

孝經一卷 一册

写本 天明八年(一七八八)写

〔略書誌〕卷末に「天明八歲次戊申季冬之写畢」の識語あり。原―108

宋刻孝經一卷附二十四孝經圖說一卷 一册

王震(二亭)編纂 民國二十四年(一九三五)序刊
〔略書誌〕無刊記、題簽に「宋刻孝經」と王震(二亭)の書、刊行年は対見の跋による。南宋相臺岳本(岳本)の影印。原―237

篆文孝經一卷 一册

吳大澂書 中華民國八年(一九一九)三版 蘇州振新書社印行
〔略書誌〕光緒十一年五月、吳大澂序、奥付によれば民國二年初版、五年再版とあり、表紙に「民國八年參版」とある。今、刊行年を表紙の記載による。原―235

孝經宗旨一卷附孝經引證一卷 一册

明羅汝芳撰 劉鱗長校 楊起元撰 劉鱗長校 承應元年(一六五二)刊
五倫書屋刊

〔略書誌〕原―75 返・送・縦

孝經大全十卷 存八册(第一册欠、欠一、二卷)

明江元祚輯
〔略書誌〕卷三以下の收目は次のとおり。
乙集

今文孝經直解一卷 明江元祚訂

進石臺孝經表一卷 唐齊古撰
石臺孝經表一卷 唐玄宗李隆基注
丙集

朱文公定古文孝經一卷 宋朱申注
朱文公刊誤古文孝經一卷 元董鼎注
朱文公刊誤孝經旨意一卷 明朱鴻撰

丁集

吳文正公較定今文孝經一卷 元吳澄校定
吳文正公刊誤一卷 元吳澄撰
吳文正公較定今文孝經記一卷 元張恆撰

戊集

孝經彙註三卷 明江元祚刪輯
己集

孝經會通一卷 明沈淮撰
孝經疏鈔一卷 唐元行冲疏 宋邢昺正義 明梅鼎和鈔
四書孝語一卷 明朱鴻撰

庚集

五經孝語一卷 明朱鴻輯
曾子孝實附錄一卷 明江元祚刪注
孝經彙目一卷 明江元祚撰

辛集

孝經集靈二卷附集一卷 明虞淳熙撰
壬集

孝經釋疑一卷 明孫本撰
孝經質疑一卷 明朱鴻撰
從今文孝經說一卷 明虞淳熙撰
古文孝經說一卷 明孫本撰

古孝經一篇大旨一卷 明孫本撰
孝經集文一卷 明江元祚輯
原一76 句・返・送・縦

孝經一卷 一册

明治二年(一八八〇)刊
〔略書誌〕無刊記本、刊行年は本文大尾の記述による。原一78 返・送・縦

考訂孝經一卷 一册

山本章夫編 明治二八年(一八九五)刊 山本規矩三發行
〔略書誌〕表紙見返しに「讀書室藏」とあり、明治二八年山本章夫序あり。
表紙見返し書名に「考訂孝經」とあり、今これに拠る。原一86 返・送・縦
(△)

考訂孝經一卷 一册

山本章夫編 明治二八年(一八九五)刊 山本規矩三發行
〔略書誌〕同前 原一87

考訂孝經一卷 一册

山本章夫編 明治二八年(一八九五)刊 山本規矩三發行
〔略書誌〕同前 原一88

考訂孝經一卷

山本章夫編 明治二八年刊 山本規矩三發行

〔略書誌〕同前 原―89

孝經會通一卷 一册

田幹手書 明治四十年（一九〇七）跋刊

〔略書誌〕刊行年は明治四十年田幹跋文により、書名は原題簽による。
石印。返・送・縦

孝經一卷 一册

神樂江薫編 昭和五年（一九三〇）再版 眞朋塾発行

〔略書誌〕昭和四年三月初版發行、昭和三年、神樂江薫の跋、
表紙見返しに「石臺原文 眞朋塾課本」とあり。原―95 白文。

孝經碑一卷 一册

内田周平編 昭和十一年（一九三六）刊 谷門精舎蔵版

〔略書誌〕扉に「松平樂翁公隸額、柴野栗山先生跋 孝經碑 谷門精舎印
存」とあり。文化四年に建てられた孝經碑の拓本の影印。大正元年の内
田周平（遠湖）の跋あり。朱子刊誤本に據る。

孝經一卷 一册

〔略書誌〕無刊記本、經文を篆書で記す。

孝經一卷 一册

題漢孔安國序 写本

〔略書誌〕奥書等なし、明治期以降の刊写本。

邦人選述部（準漢籍）竝和書

古文孝經標註一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純（春臺）音、山世璠（片山兼山）標註 文化十二年
（一八一五）刊 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば享保十七年を原本とする再刻本。享保十六年十一
月太宰純（春臺）の「重刻古文孝經序」と題する序文あり。また、明和
九年一月の片山兼山「標註古文孝經序」と題する序文あり。原―179 返・
送

古文孝經標註一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純（春臺）音 山世璠（片山兼山）標註 安政七年（一
八六〇）印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば、享保十七年版の再板。原―180 返・送

古文孝經標註一卷 一册

漢孔安國傳 太宰純（春臺）音 山世璠（片山兼山）標註 明治九年（一
八七六）印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕享保十七年原板の安政七年正月五刻本の覆印。原―181 返・
送

古文孝經標柱一卷 一册

題漢孔安國傳 太宰純（春臺）音 山世璠（片山兼山）國讀（訓點）文
政十二年刊本明治印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―19 返・送

古文孝經孔傳參疏三卷 三册

題漢孔安國傳 片山兼山閱 山中裕之輯 葛山寿・萩原萬世校 寛政元年(一七八九) 印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕卷末に寛政元年九月葛山寿の序あり、卷末に萩原萬世の跋を戴す。表紙見返しに「兼山先生著 寛政元年」とあるも、本文第一丁一行目により、孝閱者とする。天明八年刊本の重印。原―130 返・送・縦

古文孝經孔傳參疏三卷 三册

題漢孔安國傳 片山兼山閱 山中裕之輯、葛山寿・萩原萬世校 寛政元年(一七八九) 印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―131 返・送・縦

古文孝經孔傳參疏三卷 三册

題漢孔安國傳 片山兼山閱 山中裕之輯、葛山寿・萩原萬世校 天明八年(一七八九) 印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―132 返・送・縦

古文孝經解和字正註一卷 一册

金勝仙撰 享和二年(一八〇二) 刊 嵩山房小林新兵衛刊
〔略書誌〕本文、國字による右傍訓あり。書名採録は自序による。表紙見返し、題簽共に「和字正註古文孝經解」とす。原―137 返

古文孝經私記二卷 二册

朝川鼎(善庵)撰 鈴木讓・三須復・汲川恭校 文化八年(一八一二) 刊 小林新兵衛等刊 學古塾蔵板

〔略書誌〕卷頭に文化六年十月の山本信有(北山)の序を付す。文化七年十一月、佐藤坦(一齋)の序あり。原―139

古文孝經私記二卷 二册

朝川鼎(善庵)撰 鈴木讓・三須復・汲川恭校 文化八年(一八一二) 刊 小林新兵衛等刊 學古塾蔵板

〔略書誌〕同前 原―140

古文孝經私記二卷 二册

朝川鼎(善庵)撰 鈴木讓・三須復・汲川恭校 學古塾蔵板
〔略書誌〕同前 無刊記。原―141

古文孝經私記二卷附古文孝經定本稱謂私言 一册

朝川鼎(善庵)撰 鈴木讓・三須復・汲川恭校 學古塾蔵版
〔略書誌〕無刊記、文化八年刊本後印。朝川善庵「古文孝經定本」を付し、尾藤二州「稱謂私言」(版心「拙修齋叢書」)を卷末に付す。原―142

古文孝經講釋二卷 二册

太宰純(春臺)定本 小林文由録 文化十二年(一八一五) 刊 嵩山房小林新兵衛刊
〔略書誌〕半紙本、國字解。原―147 返・送

頭書講釋古文孝經一卷 一册

高井蘭山著 嘉永二年(一八四九) 五月刊 河内屋喜兵衛・須原屋新兵衛等刊

〔略書誌〕天保三年三月、高井蘭山跋、表紙見返しに「頭書講釋 古文孝經 全 平かな附 江戸書肆 嵩山房梓」とあり、今、頭書講釋の角書

を入れて書名採録する。表紙見返し欄外に「嘉永新版」とあり。本文総振り仮名付、國字首書。原―175 返

古文孝經愚解一卷 一册

道馨撰 江戸期写本

〔略書誌〕成書竝抄写年未詳。朱墨にて傍訓國字解。原―186

古文孝經余師一卷 一册

溪百年撰 明治印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕書名は表紙見返し及び題簽による。表紙見返し及び刊記の「江戸書肆」を改め「東京書肆」にする。小本、国字解。原―189 本文返・送・縦

古文孝經評註一卷 一册

漢孔安國傳 元董鼎大義 後藤松陰訓點評註 明治十六年（一八八三）刊 大村安兵衛刊

〔略書誌〕表紙見返し「博文舎蔵」とあり。原―200 返・送

古文孝經評註一卷 一册

漢孔安國傳 元董鼎大義 後藤松陰訓點評註 明治十六年（一八八三）刊 大村安兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―201

古文孝經評註一卷 一册

漢孔安國傳 元董鼎大義 後藤松陰訓點評註 明治十六年（一八八三）

刊 大村安兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―202

古文孝經纂註一卷 一册

漢孔安國傳 五十川左武郎纂註 明治十六年（一八八三）刊 此村庄助（欽英堂）刊

〔略書誌〕題簽に「鼈頭」の角書あり。原―203 音・返・送

古文孝經標註一卷 一册

題漢孔安國傳 高木熊三郎標註 明治十六年（一八八三）刊 築城勇助 刊 温古書屋蔵板

〔略書誌〕表紙見返し及び題簽に「古文孝經標註」とあるのに依り書名採録、表紙見返しに「温古書屋蔵」とあり。原―204 返・送

古文孝經標註一卷 一册

孔安國傳 高木熊三郎標註 青木恒三郎刊 〔略書誌〕同前 原―205 返・送

古文孝經標註一卷 一册

漢孔安國傳 高木熊三郎標註 明治十六年十一月 青木恒三郎刊 温古書屋蔵板

〔略書誌〕同前 原―206

諺解古文孝經一卷 一册

大槻誠之（東陽）・大槻篤郎解 明治十七年（一八八四）序刊 松山堂（藤井利八）序刊

〔略書誌〕無刊記、刊行年は明治十七年四月大槻東陽の序による。國字

解。原—207 返・送

諺解古文孝經一卷 一冊

大槻誠之(東陽)・大槻篤郎解 明治十七年(二八八四)刊 松山堂(藤井利八)刊

〔略書誌〕 同前 原—208

標註訓點古文孝經一卷 一冊

綿引泰標註訓點 明治十七年(二八八四)刊 鈴木吉藏刊 東京教育書房文選樓藏板

〔略書誌〕 書名は版心及び題簽より採録する。原—209 返・送

標註訓點古文孝經一卷 一冊

綿引泰標註訓點 明治十七年(二八八四)刊 鈴木吉藏刊 東京教育書房文選樓藏板

〔略書誌〕 同前 原—210

古文孝經標註一卷 一冊

漢孔安國傳 土生柳平標註 明治十七年(二八八四)刊 山中市兵衛刊

〔略書誌〕 版心に「甘泉堂藏版」とあり。表紙見返しに「山中氏藏板」とあり。原—211 返・送

古文孝經標註一卷 一冊

漢孔安國傳 土生柳平標註 明治十七年(二八八四)刊 山中市兵衛刊

〔略書誌〕 同前 原—213

古文孝經評註一卷 一冊

漢孔安國傳 土生柳平標註 明治二十一年(二八八八)刊 目黒十郎刊

明治新註古文孝經校本一卷 一冊

關德(士順)集註 明治十六年(二八八三)刊 吉岡平助刊

明治新註古文孝經校本一卷 一冊

關德(士順)集註 明治十八年(二八八五)刊 吉岡平助原版 右田喜久郎覆刻

龍頭句解古文孝經講義一卷 一冊

春日仲淵(潛庵)述 明治印 嵩山堂青木恒三郎刊

玄宗御註孝經補義一卷 一冊

唐玄宗註 福井輒等撰 天明八年(二七八八)序跋刊 篠山振徳堂藏板

る。原—129 返

孝經御註譯義一卷 一册

唐玄宗註 平景敬(子遠)訓點 寛政十年(一七九八)刊 渡辺角右衛門蔵板

〔略書誌〕版心に「柿園蔵」とあり。本文左側に國字解を傍訓として付す。原—136 返・送・縦

孝經刊誤集解一卷 一册

中村之欽(楊齋)撰 増謙益夫編 寛政元年(一七八九)印 小林新兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば、元祿十七年刊、武村新兵衛刊行本を求版印行したもの。原—117 返・送・縦

孝經刊誤集解一卷 一册

中村之欽(楊齋)撰 増謙益夫編 寛政元年(一七八九)印 泉木八兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば、元祿十七年刊、武村新兵衛刊行本を求版印行したもの。原—118 返・送・縦

孝經大義草鈔二卷 一册

小出永庵撰 寛文九年(一六六九)年刊 小嶋弥生左衛門刊
〔略書誌〕國字解、原—114 返・送・縦

孝經大義詳略大全四卷 二册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 毛利貞齋校輯 延寶七年(一六七九)刊 錢屋儀兵衛刊

〔略書誌〕原—72 返・送・縦

孝經大義詳解四卷 二册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 蘆川正柳(桂洲)詳解 貞享五年(一六八八)刊 村上勘兵衛刊、

〔略書誌〕國字解。原—73 返・送・縦

孝經大義詳解四卷 五册

宋朱熹(文公)刊誤 元董鼎註 蘆川正柳(桂洲)詳解 元祿元年(一六八八)印 奥村源兵衛・森田長兵衛刊

〔略書誌〕貞享五年刊本の後印本。原—74 返・送・縦

孝經大義示蒙一卷 一册

大内董平講述 明治四十三年(一九一〇)刊 吉川弘文館等刊、

〔略書誌〕版心に「紫翠軒蔵版」とあり。董鼎『孝經大義』に依拠して國字解したもの。鉛印本。原—223

増補孝經彙註三卷 三册

明江元祚輯 吳太冲參訂 大塩平八郎(後素)増補 天保六年(一八三五)刊 河内屋吉兵衛等刊 精義堂蔵板

〔略書誌〕表紙見返しに、「精義堂蔵板」とあり。原—167 句・返

増補孝經彙註三卷 三册

明江元祚刪輯 吳太冲參訂 大塩平八郎(後素) 増補 天保六年(一八三五) 刊本後印 小林新兵衛等刊 精義堂藏板
〔略書誌〕 題簽に「三子標釋」の角書あり。原―168 句・返

増補孝經彙註三卷 一册

明江元祚刪輯 吳太冲參訂 大塩平八郎(後素) 増補 大正四年(一九一五) 刊 書林聖華房(山田茂助) 刊
〔略書誌〕 天保六年四月、京屋浅次郎・河内屋吉兵衛等刊本の覆刊本。一部朱印。原―169 句・返

増補孝經彙註三卷 三册

明江元祚刪輯 吳太冲參訂、大塩平八郎(後素) 増補 精義堂藏版
大正四年(一九一五) 刊
〔略書誌〕 天保六年刊本河内屋吉兵衛等刊本の覆刊本。原―170 返

増放孝經鄭氏解補證一卷 一册

漢鄭玄注 清洪頤煊補證 東条弘(二堂) 増放 文化十一年(一八一四) 序跋刊 螺窟藏版
〔略書誌〕 文化十一年の亀田興序および宮原明雄跋あり。表紙見返しに「文化甲戌鐫」とあり、印行の根拠とする。版心及び表紙見返しに「螺窟」とあり。原―148 返・送

増放孝經鄭氏解補證一卷 一册

清洪頤煊補證 東条弘(二堂) 増放 文化十一年(一八一四) 序跋刊 螺窟藏版
〔略書誌〕 同前 原―149 返・送

増放孝經鄭氏解補證一卷 一卷

清洪頤煊補註 東条弘(二堂) 増放 文化十一年(一八一四) 刊 螺窟藏版
〔略書誌〕 同前 原―150 返・送

増放孝經鄭氏解補證一卷 一册

清洪頤煊補註 東条弘(二堂) 増放 文化十一年(一八一四) 刊 螺窟藏版
〔略書誌〕 同前 原―151 返・送

増放孝經鄭氏解補證一卷 附孝經兩造簡字 二册

清洪頤煊補註 東条弘(二堂) 増放 文化十一年(一八一四) 刊 螺窟藏版
〔略書誌〕 同前 但し別冊として孝經兩造簡字を附す。原―152 返・送

孝經示蒙句解一卷 一册

中村之欽(楊齋) 撰 元祿十六年(一七〇三) 刊 本後印 菊屋七郎兵衛刊
〔略書誌〕 国字解(カタカナ) 原―116 返・送・縦

孝經啓蒙四卷 四册

中江藤樹釋義 寛文八年(一六六八)刊 野田庄右衛門刊
〔略書誌〕 国字解。原—115 返・送・縦

孝經啓蒙一卷 一册

中江藤樹注 弘化元年(一八四四)刊 板倉勝明刊
〔略書誌〕 小本、「甘雨亭叢書」第五集本。原—173 返

孝經識一卷 一册

中江藤樹著 板倉勝明刊
〔略書誌〕 甘雨亭叢書 第四集本、外に「尚書識」「孟子識」を合せて収む。原—174 返

中江藤樹先生國訳孝經(孝經習字帖) 一册

位田甚之助手書 昭和十一年(一九三六)刊 藤樹頌徳會(高松甚太郎)発行

〔略書誌〕 奥付の書名は孝經習字帖、今、本文第一丁内題に依りて書名とする。国字解。原—230

孝經外傳一卷 一册

山崎敬義(闇齋)輯 明曆二年(二六五六)刊 武村市兵衛刊
〔略書誌〕 原—109 返・送・縦

孝經外傳一卷 一册

山崎敬義(闇齋)輯 寛政二年(二七九〇)跋刊 敬長館蔵版
〔略書誌〕 刊行年は卷末記事による。山崎嘉序の後に嶋居好之による、秋

篠守道の山崎嘉序文の校訂識語と出版の縁起とを併せ載す。原—110 返・送・縦

孝經纂註一卷 一册

宋朱熹(文公)校定 貝原元端(存齋)纂註 寛文四年(二六六四)刊
長尾平兵衛刊

〔略書誌〕 原—111 返・送・縦

孝經纂註一卷 一册

宋朱熹(文公)校定 貝原元端(存齋)纂註 寛文四年(二六六四)刊
長尾平兵衛刊本

〔略書誌〕 同前 原—112 返・送・縦

孝經纂註一卷 一册

宋朱熹(文公)校定、貝原元端(存齋)纂註 寛文四年(二六六四)刊
長尾平兵衛刊

〔略書誌〕 同前 原—113 返・送・縦

孝經兒訓一卷 一册

著者未詳 正徳四年(二七一四)刊 錢屋庄兵衛等刊
〔略書誌〕 大字仮名右傍訓、仮名首書本、書名は今、題箋による。原—

119 返・縦

孝經兒訓一卷 一册

著者未詳 正徳四年(二七一四)刊 錢屋庄兵衛等刊
〔略書誌〕 同前 原—120 返・縦

孝經釋義便蒙二卷 一册

竹田定直(春庵)撰 享保二年(一七一七)刊 茨城多左衛門刊 柳枝軒藏版

〔略書誌〕原裝二冊を二冊に改めたもの。今、表紙見返しによって刊行年を採る。原―122 返・送・縦

孝經釋義二卷 二册

竹田定直(春庵)撰 貝原益軒訂正 明治十七年(一八八四)印 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕刊記によれば、享保二年三月刊本を求板して重印したもの。国字解。原―121 返・送・縦

孝經釋義便蒙二卷 一册

貝原益軒訂正 竹田定直(春庵)撰 享保二年(一七一四)刊 茨城多左衛門刊 柳枝軒藏版

〔略書誌〕享保二年、竹田定直(春庵)序、元禄三年十月、竹田定直(春庵)跋、刊行年は表紙見返しに「享保二丁酉歲刊布 平安柳枝軒藏版」とあるのに拠る。原―二四番(美濃版)とは同版木を使用し、判形を異にする(半紙版)。原―123 返・送・縦

孝經釋義便蒙二卷 存一册(欠下卷)

竹田定直(春庵)撰 貝原益軒訂正 享保二年(一七一七)刊 茨城多左衛門刊 柳枝軒藏版

〔略書誌〕同前

孝經集覽二卷 二册

漢孔安國傳 唐玄宗註 宋邢昺疏 宋朱熹(文公)刊誤 山本信有(北山)輯 安永四年(二七七五)刊 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕表紙見返しに「奚疑塾藏」とあり。原―125 音・返

孝經集覽二卷 二册

漢孔安國傳 唐玄宗註 宋邢昺疏 宋朱熹(文公)刊誤 山本信有(北山)輯 安永四年(二七七五)刊 嵩山房小林新兵衛刊

〔略書誌〕同前 原―126 音・返

冢註孝經一卷 一册

冢田虎(多門)註 安永七年(二七七八)刊 嵩山房小林新兵衛刊 環堵室藏版

〔略書誌〕書名は、表紙見返しに「環堵室藏 冢註孝經」とあるのに拠る。原―127 返・送・縦

冢註孝經一卷 一册

冢田虎(多門)註 安永七年(二七七八)刊 嵩山房小林新兵衛刊 環堵室藏版

〔略書誌〕同前 原―128

較定孝經一卷 一册

山本信有(北山)較 寛政九年(二七九七)序刊 明道館藏版

〔略書誌〕寛政七年六月、山本信有(北山)序あり、巻頭に寛政九年源義和の序あり、刊行年の根拠とする。原―133 返

較定孝經一卷 一冊

山本信有(北山)較 寛政九年(一七九七)序刊本後印 明道館 無刊記

〔略書誌〕寛政九年序刊本(原一133)の後印本、卷頭に源義和の序なし。原一134 返

較定孝經一卷 一冊

山本信有(北山)較 寛政九年(一七九七)刊本後印 明道館藏版

〔略書誌〕同前 原一135 返

孝經一卷 一冊

石川雅望撰 文化六年(一八〇九)刊 耕書堂蔦屋重三郎刊

〔略書誌〕國字による右傍訓・首書。表紙見返しに「孝經 國字傍訓 俚語略解」とあり。原一138 返

繪本孝經一卷 一冊

蕙齋(北尾政美)畫 文化十年(一八一三)刊 松村九兵衛・片野東四郎等刊

〔略書誌〕絵入り國字解、総振り仮名付。原一143 返

繪本孝經 二卷 一冊

蕙齋(北尾政美)畫 文化十年(一八一三)刊 松村九兵衛等刊

〔略書誌〕同前 原一144 返

繪本孝經二卷 一冊

蕙齋(北尾政美)畫 文化十年(一八一三)刊 松村九兵衛等刊

〔略書誌〕同前 原一145

繪本孝經二卷 一冊

蕙齋(北尾政美)畫 文化十年(一八一三)刊 松村九兵衛等刊

〔略書誌〕同前 原一146

孝經證一卷 一冊

高橋華陽(閔慎)輯録 江戸刊

〔略書誌〕無刊記本。原一153 返・送

孝經證話一卷 一冊

高橋華陽(閔慎)集著 文化十三年(一八一六)序刊

〔略書誌〕無刊記、刊行年は、文化十三年九月佐々木重晃の序による。漢字片仮名混じり文で『孝經證』(原一153)を解説。原一154

孝經發揮一卷 一冊

津坂孝緯(緯堂)撰 文政九年(一八二六)刊 風月荘左衛門・本屋佐兵衛等刊行

〔略書誌〕左傍訓。原一155 返・送

孝經發揮一卷 一冊

津坂孝緯(緯堂)撰 嘉永五年(一八六二)刊 有造館藏版 本屋左兵衛等刊

〔略書誌〕同前

〔略書誌〕覆文政九年刊本、左傍訓。原一156 返・送

孝經發揮一卷 一冊

津坂孝緯(緯堂)撰 明治十六年(一八八三)刊 有造館原版

〔略書誌〕刊記によれば文政八年吉原版の銅版覆刻、梅楓交枝軒(室直三郎) 翻刻、左傍訓。原―161 返・送

孝經發揮一卷 一册

津坂孝綽(綽堂) 撰 明治印 木村光綱刊 三重縣藏版

〔略書誌〕文政六年(一八三三) 刊本の後印、無刊記本、藏版は表紙見返しによって採録。左傍訓。原―157 返・送

孝經發揮一卷 一册

津坂孝綽(綽堂) 撰 文政九年刊本明治三十年(一八九七) 印 津藩有造館藏版

〔略書誌〕文政九年刊本の後印、藏版は表紙見返しによって採録。左傍訓。原―158 返・送

孝經發揮一卷 一册

津坂孝綽(綽堂) 撰

〔略書誌〕無刊記、文政九年刊本後印、左傍訓。原―159 返・送

孝經發揮一卷 一册

津坂孝綽(綽堂) 撰 無刊記

〔略書誌〕無刊記、文政九年刊本後印、左傍訓。原―160 返・送

孝經集傳一卷 一册

山本惟孝集傳 天保四年(一八三三) 刊 帶屋伊兵衛等刊
南紀學習館藏版

〔略書誌〕原―162 返・送

孝經集傳一卷 一册

山本惟孝集傳 天保四年(一八三三) 刊 帶屋伊兵衛等刊

南紀學習館藏版

〔略書誌〕同前 原―163

孝經集傳一卷 一册

山本惟孝集傳 天保四年(一八三三) 刊 帶屋伊兵衛等刊

南紀學習館藏版

〔略書誌〕同前 原―164

孝經義二卷 二册

金秀順(天祐) 著 金秀信(高明) 校 天保五年(一八三四) 刊

〔略書誌〕金秀信の序、並びに扉に「天保甲午新鐫」とあり、刊行年の根拠とする。金秀順、岳陽と号す。秋田藩儒、文化十年没。國字解。原―165

孝經義二卷 二册

金秀順(天祐) 撰 金秀信(高明) 校 天保五年(一八三四) 序刊

〔略書誌〕同前 原―166

孝經講義二卷 二册

大塩平八郎(後素) 講述 江戸期刊 書林聖華房(山田茂助)

〔略書誌〕刊行年未詳、半紙本、國字解。原―188 返・送

孝經傍訓一卷 一册

三國直準述 岡翼・田中良知校 天保八年(一八三七) 序刊

一洗堂蔵版

〔略書誌〕天保七年自序、天保八年の岡翼・田中良知の刊語を付す。今校訂者の序文日付によって刊行年とする。左右両傍訓・首書題簽に「龍頭孝經傍訓 全」とあり。原―171 返・送・縦

孝經傍訓一卷 一册

三國直準撰 天保八年（一八三七）序刊 一洗堂蔵版
〔略書誌〕同前 原―172

孝經考一卷 一册

亀井昱（昭陽）撰 写本 文政十一年（一八一四）写
〔略書誌〕卷末奥書に「干時文政十一年戊子十月二十日於干蒲廬写之」とあり。原―177 返・送

孝經考一卷 一册

亀井昱（昭陽）撰 写本 江戸期写
〔略書誌〕抄写年未詳、卷末に朱書きにて「弘化丙午四月六日 一讀校訂了 三好正秀」の識語あり、本文中の句讀並びに校訂は三好正秀の手になるもの。原―176 白

孝經一卷 一册

小畑行簡譯 宗昌庵・高嶋文栄・小川弘次校 元治元年（一八六四）序刊 詩山堂蔵版
〔略書誌〕無刊記、元治元年二月小畑行簡の序を載せ、表紙見返しに「詩山堂蔵梓」とあり。左傍訓・國字解。原―171 返・送・縦

孝經參釋一卷 一册

川崎履（魯齋）撰 慶應四年（一八六七）刊 高山房小林新兵衛刊 尚志堂蔵版

〔略書誌〕表紙見返しに拠れば「高山房一貫堂発兌」とあり。朱墨二色套印本。原―183 返・送

孝經參釋一卷 一册

川崎履（魯齋）撰 昭和十年（一九三五）刊印 吉川弘文館刊
〔略書誌〕慶應四年刊本（原―183）の影印。原―184 返・送

孝經參釋一卷 一册

川崎履（魯齋）撰 昭和十年（一九三五）刊 吉川弘文館刊
〔略書誌〕同前 原―185 返・送

孝經義考一卷 一册

赤田瑛（誠軒）撰 明治二年（一八六九）成書 写本
〔略書誌〕卷末に「己巳仲夏下浣成業 容城逸民赤田瑛謹誌」の識語あり。今明治二年に比定す、次の孝經義考と併せて俟考。原―191

孝經義考一卷 一册

赤田瑛（誠軒）撰 明治二年（一八六九）成書 明治三年校閲
〔略書誌〕卷末識語に「己巳仲夏下浣成業容城逸民 赤田瑛誌」とあり。奥書に「明治二年己巳十一月二木蘭陵写之、明治三庚午中秋日改 二木星谷」とある。原―192

孝經淺説一卷 一册

椿時中注釋 新保正與評閱 明治十六年（一八八三）刊 小林二郎発行
精華堂藏版

〔略書誌〕 山岡鉄太郎題字、國字解。原―195 返・送

孝經淺説一卷 一册

椿時中注釋 新保正与評閱 明治十六年（一八八三）刊 小林二郎発行
精華堂藏版

〔略書誌〕 同前 原―196 本文返・送

孝經集註一卷 一册

近藤元粹撰 明治十六年（一八八三）刊 中川勘助刊 明善堂藏版
〔略書誌〕 原―197 返・送・縦

孝經集註一卷 一册

近藤元粹著 明治十六年（一八八三）刊 中川勘助刊 明善堂藏版
〔略書誌〕 同前 原―198

孝經集註一卷 一册

近藤元粹撰 明治十六年（一八八三）刊 中川勘助刊 明善堂藏版
〔略書誌〕 同前 原―199

孝經講義 一册

斯文學會編集第二局編輯 明治十八年刊、斯文學會刊、
〔略書誌〕 卷末に山本邦彦（晴谷）の跋あり、書名は、表紙見返し「斯文學會講義筆記孝經講義、斯文學會藏版」とあるのによる。原―214 返・送

孝經定本一卷 一册

松本豊多著 明治二十一年（一八八八）刊 小林新兵衛刊
〔略書誌〕 版心ならびに表紙見返しに「松本氏藏版」とあり。明治二十一年四月西尾忠篤題字、光緒十五年黎庶昌序、明治戊子六月松本豊多自序、明治二十一年六月山井重章跋あり。原―216 返・送

孝經定本一卷 一册

松本豊多著 明治二十二年（一八八八）七月 小林新兵衛発行
〔略書誌〕 同前 原―217

孝經塾本一卷 一册

谷鎮（鐵）臣摘録 明治二十九年（一八九六）刊 文石堂北邨四郎兵衛刊 枕易齋藏版
〔略書誌〕 表紙見返し及び版心に「枕易齋藏版」とあり。原―218 傍注・返

孝經塾本一卷 一册

谷鎮（鐵）臣摘録 明治二十九年（一八九六）刊 文石堂北邨四郎兵衛刊 枕易齋藏版
〔略書誌〕 同前 原―219

孝經塾本一卷 一册

谷鎮（鐵）臣摘録 明治二十九年（一八九六）刊 文石堂北邨四郎兵衛刊 枕易齋藏版
〔略書誌〕 同前 原―220

孝經義解一卷 一册

吉富亀次郎撰 明治三十二年（一八九九）刊 田代坦之發行
〔略書誌〕 明治三十年十月、秋月新太郎序、明治三十年十一月、亀谷行（省軒）引、副島種臣題字、鉛印本、國字解。原―221 返・送

訓譯孝經大學一卷 一册

奥田淑訓譯 明治三十三年刊 豊田兼三郎發行及金華堂支店發行
〔略書誌〕 鄭注孝經と古文大學を合卷し、書き下したるもの。鉛印本 原―222

孝經講義一卷 一册

中澤信著 大正十年（一九二一）五版 文章院（渡部求）發行、
〔略書誌〕 元帥東郷平八郎題字、陸軍大将大迫尚道題字、文學博士三上參次序、文學博士芳賀矢一序、文學博士服部宇之吉跋、文學博士 兒島獻吉郎閱、大正十年二月初版、鉛印本、國字解。原―224

孝經國字解一卷 一册

撰者不明 大正十一年（一九二二）跋刊
〔略書誌〕 無刊記本、大正十一年六月の犬塚一貞跋文あり、鉛印本。原―225 返

孝經一卷 一册

孝道振興會編 昭和八年 孝道振興會刊
〔略書誌〕 徳富蘇峰等題字、「孝經訓讀」を付す。原―227 返

古文孝經攝字註他四種 一册

九鬼（藤原）隆都（温齋）註 嘉永四年（一八五二）序刊
視如齋藏版
〔略書誌〕 無刊記、他に九鬼（藤原）隆都の「孝經」（嘉永三年藤原隆都序）、「古文孝經」（嘉永四年筒井憲序）、「孝經圖」（弘化四年藤原隆都序）、「孝經圖口義」を収める。版心に「桃洞書院藏版」、表紙見返しに「視如齋藏梓」とあり。今書名を表紙見返し及び題簽に抛る。原―178

孝經五種 一册

杉浦親之助編 大正十四年（一九二五）刊 杉浦親之助發行
〔略書誌〕 卷頭に教育勅語を載せ、大正十四年三月、服部宇之吉（随軒）序を載せる。原―226 五種の内容は、
〔國譯孝經〕（中江藤樹撰）
〔古文孝經〕（書き下し文）
〔今文孝經〕（書き下し文）
〔弘安本孝經〕（弘安本二年抄本の影印本）、家点・返・送・縦
〔孝經啓蒙〕（中江藤樹釋義）

孝經刊誤合纂 一册

内田周平（遠湖）輯 昭和十一年（一九三六）刊四月 谷門精舎刊
〔略書誌〕 昭和十一年四月 内田周平序、鉛印本。原―228 本書に収める内容は、
〔孝經刊誤〕（宋朱文公作）
〔孝經刊誤師説〕（講者筆者不詳）

〔孝經刊誤講義〕（稻葉默齋講述・篠原惟秀筆記）

〔孝經刊誤口義〕（講者筆者不詳）

〔孝經外傳〕（闇齋先生編次）

孝經刊誤合纂 一冊

内田周平 昭和十一年（一九三六）四月 谷門精舎刊

〔略書誌〕同前 原―229

孝經說（咬菜軒五種） 一冊

服部富三郎（拱）著 昭和十一年（一九三六）序刊

〔略書誌〕無刊記、刊行年は今、自引の年号による。鉛印本。原―231

孝經小學 一冊

林泰輔・北村澤吉編 大日本漢文學會蔵版

〔略書誌〕刊行年未詳、書名・編者は扉の記述に依る。国字解、鉛印本。

原―232 返・送